

令和 5 年 4 月 22 日定例作業の報告をします。

4/22（土）いただきますの森定例会についての活動を報告します。

参加された方の人数は約大人 15 人、子ども 5 人程度でホーリーバジル周辺や入口付近や果樹周りの草刈りを行い、看板作りのニス塗りの仕上げ作業、ミツバチの巣箱作り、花壇の木枠作り、虫ホテルの枠組み、畑の耕起等の作業をそれぞれやりたい所で活動を行いました。

いただきますの森の小麦は青々とした穂をつけ始め、ブルーベリーには白い花が咲き、紫色の矢車草も元気に咲いています。畑ではさやえんどうが実り、じゃがいもも成長していました。



巣箱作りでは、電動ドリルを使用してカットしてある木枠を固定して巣箱を作り、巣箱の内側に十字のアルミ線を取り付けました。そこへみつろうを塗ったり、完成した巣箱の外側をガスバーナーで表面をあぶり、巣箱を設置しました。



花壇は支柱となる木をはめ込み、そこに横に木を置いて形を作りました。

果樹周りや奥側の草刈り、菜花の刈り取り、フェンス側のつる取りなどは刈った草を花壇の予定地に運び、

その上に落ち葉や肥料、水をかけて上から踏むことで肥料として使えるように整えました。



いただきますの森の看板は、少し補修をした後、ニス塗りをしたのですが、チーク色のニスを塗ってしまったため、緑色の看板に色がついてしまいました。緑色の部分のニスは薄め液でふき取り、手直しをしようと考えています。

虫ホテルの枠組みを作成しました。奥側から木材等が抜け出ないためにフェンスや網などを裏側につける計画をしています。



ノウルシ



畑を耕起し、ゴボウとその脇にチンゲン菜、里芋を別の畝へ植えました。また野菜の成長が楽しみですね。

途中お散歩されている方からこの辺りでは準絶滅危惧種のノウルシが生えていることを教えて貰いました。

一見普通の草のようでも実は準絶滅危惧種の草が生えているこの地域の大切さを改めて実感しました。

さやえんどうはみんなで摘み、生で味わい、みずみずしさと豆の甘さに感動しました。

子どもたちもやりたい所に参加して様々な活動を手伝っていたのが印象的でした。

5月21日（日）にいただきますの森で防災確認イベントを予定しています。

設置されているベンチ等は収納設備や非常時にかまどとして使用できます。

炊き出し等をして皆さんで扱い方を学ぶ機会に出来ればと考えています。

これからもみんなでいた森を創り上げていければと思います。

皆様どうぞよろしくお願い致します。



（文責：いただきますの森 プロジェクト 前川）